

1 学期終園式を迎えました

7 月 18 日 (火)、梅雨が明けないまま 1 学期の終園式を迎えました。全学年が遊戯室に集まっての式は、コロナが流行して以来、初めてです。



(1 学期始園式は、まだ年少が入園していなかったため年長・年中のみでの実施でした)

5 月 8 日 (月) から、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが 5 類感染症に変更されたことに伴って、これまで制限がかかっていた保育内容が復活し始めた 1 学期でありました。

年少の皆さんは、これまでお家で過ごしていたのが幼稚園で過ごす事になり、幼稚園の生活に慣れてくれるかなあ〜と、心配していましたが、元気に遊んでいる姿を見て安心しているところです。雨の日に、レインコートを着て、散歩にも行っていました。

年中の皆さんは、ミニトマトやキュウリなどの夏野菜を育てていました。お世話係を決めて、水やりなどのお世話をすることができていました。そのお陰で、ミニトマトやキュウリがたくさん収穫でき、試食することができて良かったです。

年長の皆さんは、バケツ稲を育てています。子ども達が大変よくお世話をしているので、草丈もグングン伸びて、株別れもしています。秋の収穫が楽しみです。また、坂道登園もしています。結構、きつい坂道ですが、元気に切り切って正門に到着した時の自信に満ち溢れた笑顔は、とても素敵でした。

1 学期、どんな遊びや活動が楽しかったのか？また、できなかったことが、できるようになったことは、どんなことなのか、親子で振り返る機会にしてほしいと思います。

そして、次の 3 つのことを守って楽しい夏休みにしてください。

一つ目は、自分の命は自分で守りましょう。病気や怪我をしないように気を付けましょう。

二つ目は、幼稚園でできていたことは、お家でも続けましょう。(食事、着替え、トイレ、後片付け、挨拶に関することなど)

三つ目は、絵本を読みましょう。テレビやゲーム、ユーチューブばかり見ないで、絵本も読んでください。年長の皆さんは、お家のお手伝いもできると最高だと思います。

楽しかった、お泊り保育

年長は、7 月 19 日 (水) から 1 泊 2 日のお泊り保育を実施しました。朝方から激しい雨に見舞われましたが、登園する午後からは天気も回復し、当初の計画を変更することなく実施することができました。

最初の活動は、うどん作りです。ジップロックに入った小麦粉に塩水を少しずつ入れながらまとまるまでこねていました。さらに、生地を折り返ししながら順番に足で踏んで、こねていました。生地を寝かせている間に、プールでの水遊びをしました。



その後、うどん作りの仕上げです。生地をのばし棒でしっかりのばして(理想は厚み 3 mm)、包丁を使って切っていました。出来上がったうどんを、かよ先生と由美子先生に湯がいてもらって、「いただきまあ〜す」



口の周りをカレーで染めながらも、「美味しい、美味しい」と言いながら食べていました。子ども達が自分で作ったレンゲも使っていました。



食後は、園庭でキャンプファイヤーをし、「キャンプだホイ」を皆で楽しく踊りました。



初日の最後の活動は、夜の探検・謎解きです。5 つの場所を移動して、ミッションをクリアしながら言葉を集めると「プレゼント」でした。一緒に活動した年中・年少の先生からの合奏のプレゼントがありました。



不安に思っていた子ども達も、家庭を離れ教師や友だちと一泊することができたことで、自信に繋がったのではないのでしょうか。この 1 泊 2 日のお泊り保育について、子どものお土産話をたくさん聞いてあげてください。

※親御さんの不安解消のため子どもの様子をストーリーズにアップしたのは恭子先生でした。